

145 富に関する教え(1) 金持ちの青年議員

NIV: The Rich and the Kingdom of God /NKJV: Jesus Counsels the Rich Young Ruler

マタイによる福音書 19 : 16~26 (金持ちの青年)、
マルコ 10 : 17~27 (金持ちの男)、ルカ 18 : 18~27 (金持ちの議員)

マタイによる福音書 19 : 16~26 (金持ちの青年)

16 さて、(人生に何か不安を抱いていた) 一人の男 (NIV : a man/NKJV : one=金持ち[22 節]の青年[20 節
→ネアニスコス (ギリシア語) : 20~40 歳位の成人]議員[ルカ 18 : 18→サンヘドリン]) がイエスに近寄
って来て言った。 イエスと弟子たちのエルサレム途上での出来事

「先生、永遠の命を得るには、どんな善いことをすればよいのでしょうか。」

→ (マルコによる福音書 10 : 17) イエスが旅に出ようとされると、ある人が走り寄って、ひざまずいて
(→跪いて) 尋ねた。「善い (→アガソス (ギリシア語) = 善い、尊い/カロス : 外面的な善) 先生 (→
ルカ 18 : 18、新改訳 : 尊い先生)、永遠の命を受け継ぐには、何をすればよいのでしょうか。」

→ (回復訳 10 : 17) イエスが道に出て行くと、一人の人が走り寄ってひざまずき、「先生。あなたは尊い
お方です。お教えてください。天国に入るにはどうしたらよいのでしょうか」と尋ねました。

→ 当時、多くのユダヤ人は死後の生は地上での命のようなものであろうと信じ、希求していた。

ただ、律法で特に明言されていないことから、永遠の命という考えを受け入れないサドカイ派のような
人々もいた。ラビのユダヤ教では、この裕福な青年は既に神の恵みを得ている。しかし、この青年は永遠
の命を得ているという救いの確信を得たいと願い、イエスに質問している。

→ (回復訳解説) マタイの永遠の命を持つことと、ヨハネの永遠の命を持つこととは、違いがある。

マタイは王国についてであり、ヨハネは命についてです。ヨハネにおいて、永遠の命を持つというのは、
人が神の非受造の命をもって救われ、今から永遠にわたって、この命によって生きることです。マタイに
おいて、永遠の命を持つというのは、この時代に天の王国の実際にあずかり、来たるべき時代に王国の出
現にあずかることです。そのようにして、神の永遠の命をさらに豊かに享受するのです。

→ (ヨハネによる福音書 17 : 3) 永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わ
しになったイエス・キリストを知ることです。

17 イエスは言われた。

「なぜ、善いことについて、わたしに尋ねるのか。善い方 (→the Good : 神) はおひとりである。もし命
を得たいのなら、掟 (→the commandments) を守りなさい。」

→ (回復訳 10 : 18) イエスは彼に言われた、「なぜあなたはわたしを良いと言うのか? 神おひとりのほ
かに、良い者はいない。

→ (新改訳 10 : 18) 「なぜ、わたしを『尊い』と言うのですか。尊い方は、神おひとりのほかには、だれ
もありません。

→ 善い方 = the Good = 神 God

18 男が「(掟にはモーセの律法があり、また非常に多くの口伝律法もあります。一体、) どの掟ですか」
と尋ねると、イエスは言われた。

「『殺すな (第 6 条)、姦淫するな (第 7 条)、盗むな (第 8 条)、偽証するな (第 9 条)、19 父母を敬え (第
5 条)、また、隣人を自分のように愛しなさい (第 10 条)。』」

→ 十戒 (DEKALOG、The Ten Commandments) の内、イエスは、後半の 5 つを示された。

- ・ 第一条~第四条 : 神に対する愛 = 人間と神の関係 (神に対する私たちのあるべき関係)
- ・ 第五条~第十条 : 人に対する愛 = 私たち人間同士の関係 → **【参考】**

20 そこで、この青年は言った。

「そういうことはみな守ってきました。まだ何か欠けているのでしょうか。」

→ (リビング・バイブル) 「それなら、全部守っています。ほかに何が欠けているでしょうか？」
→ 青年は、「自分は律法を守っている」と思い込んでいるが、心の奥底では何かが足りないと感じていた (実際は霊的に盲目である)。

21 イエスは (彼を見つめ、慈しんで) 言われた。

「もし (あなたが) **完全になりたいのなら、行って** (→家に帰って) (自分のためだけに持っている) **持ち物**を売り払い、**貧しい人々に施し** (隣人に対する愛を実践し) **なさい**。そうすれば、**天に富を積むことになる**。それから、**わたしに従いなさい**。」

→マルコによる福音書 10 : 21 (ルカ 18 : 22)

イエスは彼を見つめ、慈しんで言われた。「あなたに欠けているものが一つある。行って持っている物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に富を積むことになる。それから、わたしに従いなさい。」

→この金持ちの青年は、真のところでは、富を第一位 (神) としていたので、親 (神) を信頼するしか生きる術 (方法) がない幼子のように、主イエスに対する単純で素直な信仰を持つことができなかった。この青年は、「もし、それが救いの道 (条件) ならば、今の私にはできません。自分の努力によって自分を救うこともできません。そんな私ですが、主よ、どうか、あなたの恵みによって、私を救ってください」と言うべきだった。

④神は、富を否定しているのではない。神は、私たちが富の管理者として召して下さっており、私たちは富に自分が縛られるのではなく、富を賢く管理する責任がある。神は、私たちに、地上で宝を積むより、天に宝を積むように教えておられる (マタイによる福音書 6 : 19~21)。私たちクリスチャンは、富の良き管理者として、神から与えられている使命を再認識しなければならない。

→マタイによる福音書 6 : 19~21

「あなたがたは地上に富を積んではならない。そこでは、虫が食ったり、さび付いたりするし、また、盗人が忍び込んで盗み出したりする。**富は、天に積みなさい**。そこでは、虫が食うことも、さび付くこともなく、また、盗人が忍び込むことも盗み出すこともない。あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ。」

22 青年はこの言葉を聞き、悲しみながら立ち去った。たくさんの財産 (→NIV:great wealth[原義:well(幸せな)+th(こと)]/NKJV:great possessions[所有物]) を持っていたからである。

23 イエスは弟子たちに (憐れんで) 言われた。

「**はっきり言っておく**。**金持ちが天の国に入るのは難しい**。24 **重ねて言うが、金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい**。」

【一言】らくだ (駱駝) は荷物の長距離運搬に用いられたので、「砂漠の船」と呼ばれる。

背中のコブの中は脂肪 (「コブの中に水が入っている」は、誤り) で、エネルギーを蓄えるだけでなく、断熱材として働き、汗をほとんどかかないラクダの体温が上昇するのを防いでいる。また、腹部は、水分を何日もとらなくてもいいほど、細胞に水を保有している。

25 弟子たちはこれを聞いて非常に驚き、「**それでは、だれが救われるのだろうか**」と言った。

→当時、金持ちは、神の祝福を受けているという教えがあった。しかし、イエスは、それを否定したので、弟子たちは、金持ちさえも救われないとしたら、いったい誰が救われるというのだろうか、と考えた。この金持ちは、見える物だけに信頼を置いている (富を神としている) ので、見えない神を信頼することができなかった。

→(コリントの信徒への手紙二 4:18) わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。

→ (コリントの信徒への手紙二 5 : 7) 目に見えるものによらず、信仰によって歩んでいるからです。
→ (ヘブライ人への手紙 11 : 1) 信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。

26 イエスは彼らを見つめて、「それは人間にできることではないが、神は何でもできる」と言われた。

【参考】十戒(じっかい) DEKALOG デカローグ The Ten Commandments

第一条 ~ 第四条：神に対する愛=人間と神の関係 (神に対する私たちのあるべき関係)

第五条 ~ 第十条：人に対する愛=私たち人間同士の関係

イエス・キリストは、十戒を要約して二つの掟 (愛の戒め) にまとめられました。

▶マタイによる福音書 22 : 37~40

イエスは言われた。「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。

第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』

律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。」

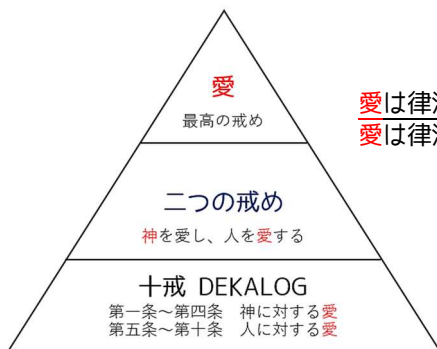
▶マルコによる福音書 12 : 29~31

イエスはお答えになった。「第一の掟は、これである。『イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』

第二の掟は、これである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はほかにない。」

▶ルカによる福音書 10 : 27

彼 (ある律法の専門家) は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」



愛は律法を全うするものです (ローマの信徒への手紙 13 : 10b)。

愛は律法の完全なり (同、文語訳)。

愛とは、御父の掟に従って歩むことであり、

この掟とは、あなたがたが初めから聞いていたように、愛に歩むことです。
(ヨハネの手紙二 6 節)

十戒について、聖書 (新共同訳、聖書協会共同訳) は、次のように記しています。

出エジプト記 20 : 1~17 黒文字：新共同訳 青文字：聖書協会共同訳

申命記 5 : 1~21 緑文字：新共同訳 茶文字：聖書協会共同訳

⑩十戒=DEKALOG:ギリシア語→deka (10) +logos (み言葉)

⑩ローマ・カトリック教会、ルーテル教会は、②の戒めを排除し(→偶像礼拝)、⑩の戒めを二つに分け、「十戒」としている。

01 神はこれらすべての言葉を告げられた。

01 それから神は、これらすべての言葉を告げられた。

01 (十戒をシナイ山で神より授かった) モーセは、全イスラエルを呼び集めて言った。イスラエルよ、聞け。今日、わたしは掟と法を語り聞かせる。あなたたちはこれを学び、忠実に守りなさい。

02 我々の神、主は、ホレブ (→シナイ山) で我々 (→イスラエルのすべての世代) と契約を結ばれた。

03 主はこの契約を我々の先祖と結ばれたのではなく、今ここに生きている我々 (→神に不満を言った人々は荒野の 40 年の間に死に絶え、今モーセと共にいる人々は新しい世代である) すべてと結ばれた。

04 主は山で、火の中からあなたたちと顔と顔を合わせて語られた。

05 わたしはそのとき、主とあなたたちの間に立って主の言葉を告げた。あなたたちが火を恐れて山に登らなかったからである。主は言われた。

01 さて、モーセはイスラエルのすべての人々を呼び集め、彼らに向かって言った。「聞け、イスラエルよ。私が今日あなたがたの耳に語る掟と法を。これを学び、守り行いなさい。

02 私たちの神、主は、ホレブで私たちと契約を結ばれた。

03 私たちの先祖とではなく、まさに私たちと、今ここで生きている私たちすべてと、主はこの契約を結ばれた。

04 主は、あなたがたと山で、火の中から顔と顔を合わせて語られた。

05 私はその時、主とあなたがたとの間に立ち、あなたがたに主の言葉を告げた。あなたがたが火の前にして恐れ、山に登らなかったからである。主は言われた。

02 「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。

02 「私は主、あなたの神、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。

06 「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。

06 『私は主、あなたの神、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。

→序文

03 あなたには、①わたしをおいてほかに神があつてはならない。

03 あなたには、①私をおいてほかに神々があつてはならない。

07 あなたには、①わたしをおいてほかに神があつてはならない。

07 あなたには、①私をおいてほかに神々があつてはならない。

→イザヤ書 44 : 6、44 : 8、45 : 5、45 : 21

【偶像崇拜の禁止】

04 あなたは②いかなる像も造ってはならない (→申命記 4 : 15~18、27 : 15~26、レビ記 26 : 1)。上は天にあり、下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるものの形も造ってはならない。

04 あなたは②自分のために彫像を造ってはならない。上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地の下の水にあるものの、いかなる形も造ってはならない。

08 あなたは②いかなる像も造ってはならない。上は天にあり、下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるものの形も造ってはならない。

08 あなたは②自分のために彫像を造ってはならない。上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地の下の水にあるものの、いかなる形も造ってはならない。 ⑨カトリック等はこの戒めを排除している。

05 あなたはそれらに向かってひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。わたしは主、あなたの神。わたしは熱情の神 (→熱愛する神/ねたむ神：口語訳) である。わたしを否む者には、父祖の罪を子孫に三代、四代までも問うが、

05 それにひれ伏し、それに仕えてはならない。私は主、あなたの神、妬む神である。私を憎む者には、父の罪を子に、さらに、三代、四代までも問うが、

09 あなたはそれらに向かってひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。わたしは主、あなたの神。わたしは熱情の神である。わたしを否む者には、父祖の罪を子孫に三代、四代までも問うが、

09 それにひれ伏し、それに仕えてはならない。私は主、あなたの神、妬む神である。私を憎む者には、父の罪を子に、さらに、三代、四代までも問うが、

06 わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、幾千代にも及ぶ慈しみを与える。

06 私を愛し、その戒めを守る者には、幾千代にわたって慈しみを示す。

10 わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、幾千代にも及ぶ慈しみを与える。

10 私を愛し、その戒めを守る者には、幾千代にわたって慈しみを示す。

07③ あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。 みだりにその名を唱える者を主は罰せずにはお
かれない。

07 あなたは、③ あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。 主はその名をみだりに唱える者を罰
せずにはおかない。

11③ あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。 みだりにその名を唱える者を主は罰せずにはお
かれない。

11 あなたは、③ あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。 主は、その名をみだりに唱える者を
罰せずにはおかない。

→みだりに唱えてはならない：神の名を使って約束を破る、真実を言うと言って嘘を言う、呪いの言葉を
神の名を引用する、魔術に神の名を使う等、レビ記 19：12

08④ 安息日を心に留め、これを聖別せよ。 →心に留め：ザーカル（ヘブライ語）思い起こす、思い出す

08④ 安息日を覚えて、これを聖別しなさい。

12④ 安息日を守ってこれを聖別せよ。 あなたの神、主が命じられたとおりに。

12④ 安息日を守ってこれを聖別し、あなたの神、主があなたに命じられたとおりに行いなさい。

→安息日：創造主なる神と贖い主なる神を確認する日、安息日は週の七日目で、神が創造の仕事を完成し
た日を記念する。創世記 2：2～3

09 六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、

09 六日間は働いて、あなたのすべての仕事をしなさい。

13 六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、

13 六日間は働いて、あなたのすべての仕事をしなさい。

10 七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、
娘も、男女の奴隷も、家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。

10 しかし、七日目はあなたの神、主の安息日であるから、どのような仕事もしてはならない。あなたも、
息子も娘も、男女の奴隷も、家畜も、町の中にいるあなたの寄留者も同様である。

14 七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、
娘も、男女の奴隷も、牛、ろばなどすべての家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。
そうすれば、あなたの男女の奴隷もあなたと同じように休むことができる。

14 しかし、七日目はあなたの神、主の安息日であるから、どのような仕事もしてはならない。あなたも、
息子も娘も、男女の奴隷も、牛やろばなどのすべての家畜も、町の中にいるあなたの寄留者も同様であ
る。そうすれば、男女の奴隷も、あなたと同じように休息できる。

11 六日の間に主は天と地と海とそこにあるすべてのものを造り、七日目に休まれたから、主は安息日を
祝福して聖別されたのである。

11 主は六日のうちに、天と地と海と、そこにあるすべてのものを造り、七日目に休息された。それゆえ、
主は安息日を祝福して、これを聖別されたのである。

15 あなたはかつてエジプトの国で奴隷であったが、あなたの神、主が力ある御手と御腕を伸ばしてあな
たを導き出されたことを思い起こさねばならない。そのために、あなたの神、主は安息日を守るよう命じ
られたのである。

15 あなたはエジプトの地で奴隷であったが、あなたの神、主が、力強い手と伸ばした腕で、あなたをそ
こから導き出したことを思い出しなさい。そのため、あなたの神、主は、安息日を守るようあなたに命じ
られたのである。

12⑤ あなたの父母を敬え。 そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることがで
きる。

12⑤ あなたの父と母を敬いなさい。 そうすればあなたは、あなたの神、主が与えてくださった土地で長く

生きることができる。

16⑤ あなたの父母を敬え。 あなたの神、主が命じられたとおりに。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生き、幸いを得る。

16 あなたの神、主が命じられたとおりに、⑤あなたの父と母を敬いなさい。 そうすればあなたは、あなたの神、主が与えてくださった土地で長く生き、幸せになることができる。

→子には両親の世話をし、尊敬することが期待された（レビ記 19：3、20：9、申命記 27：14～26）。この命令には祝福の約束が明記されている。

→マタイ 15：4、19：19、マルコ 7：10、10：19、ルカ 18：20、エフェソ 6：2

13⑥ 殺してはならない。

14⑦ 姦淫してはならない。

15⑧ 盗んではならない。

13⑥ 殺してはならない。

14⑦ 姦淫してはならない。

15⑧ 盗んではならない。

17⑥ 殺してはならない。

18⑦ 姦淫してはならない。

19⑧ 盗んではならない。

17⑥ 殺してはならない。

18⑦ 姦淫してはならない。

19⑧ 盗んではならない。

→殺してはならない：正当な理由がなく殺すことを禁じるのであり、どんな理由があろうと命を奪ってはならないということを意味しているのではない。

→盗んではならない：誘拐、人を奴隷に売る等の重罪を意味している。

16⑨ 隣人に関して偽証（→噂を広める、嘘の証言をする、出エジプト 23：1）してはならない。

16⑨ 隣人について偽りの証言をしてはならない。

20⑨ 隣人に関して偽証してはならない。

20⑨ 隣人について偽りの証言をしてはならない。

17⑩ 隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛、ろばなど隣人のものを一切欲してはならない。』 →ねたみや貪欲などの思いと行動を指している。

17⑩ 隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛とろばなど、隣人のものを一切欲してはならない。』

21⑩ あなたの隣人の妻を欲してはならない。隣人の家、畑、男女の奴隷、牛、ろばなど、隣人のものを一切欲しがってはならない。』

21⑩ 隣人の妻を欲してはならない。隣人の家、畑、男女の奴隷、牛とろばなど、隣人のものを一切欲してはならない。』 ⑩カトリック等は、①妻と②隣人のものを欲するな、の二つに分けている。

【参考】聖書にある「十戒」

▶モーセの勧告（申命記 4：13）

主は契約を告げ示し、あなたたちが行うべきことを命じられた。それが十戒である。主はそれを二枚の石の板に書き記された。

▶再び戒めが授けられる（申命記 10：4）

主は、集会の日に、山で火の中からあなたたちに告げられた十戒と全く同じものを板に書き記して、それをわたしに授けられた。

⑩十戒は、行いによる救いを教えたものではありません。それは、神の恵みによってエジプトからの解放を経験したイスラエルの民に、いかに生きるべきかを教えたものです。